

いつもお世話になっております。
今月分の請求書を送付いたしますので、何卒ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

梅雨空にあじさいの映える季節になりました。夕空がいつまでも明るくて心が弾みます。みなさまはいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

大阪本社の隣の敷地では、某化粧品会社が新社屋を建築中です。工事の音と振動が社内中に響き渡ってびっくりする時もありますが、変わっていく工事現場の様子を楽しく眺めております。

1月のお便りではこちらで行われた「遺跡調査」の話を書きましたが、記憶の片隅に残っていらっしゃいますか。調査のあと基礎工事に入り、今月になってようやく基礎が完成しました。周辺のマンションなどに比べて、かなり基礎工事に時間がかかっていたように思います。大きな円筒の穴を何本も深く掘ってセメントを流しこみ頑丈な基礎を作ったそうです。顔なじみになった警備員の方に、あの穴は何m掘ったのかとか、いろいろ教えていただいたのに、すっかり失念してしまいました。とにかく想像以上に深く掘っていたので驚きました。

この辺りは「上町台地」という大阪平野を南北に延びる丘陵地で、古くは台地の西側は海で、東側には広大な沼地が広がっていたそうです。古来より大阪の歴史舞台の中心地として、難波宮・大阪城・石山本願寺(旧)・生國魂神社・四天王寺・住吉大社など、現代では大阪府庁といった主要な施設が集まっています。台地の西側には「上町断層」が大阪府内を南北に貫いていますが、台地は地盤がしっかりしているので、大地震が起きたとしても周辺にくらべて被害は小さいだろうと言われています。隣のビルもこの頑丈な地盤に深く杭を打ち、丈夫な基礎を作ったのでしょう。

メディアでは南海トラフと首都直下型地震ばかりが注目されていますが、日本全国どこでも大地震が起きる可能性はあるそうです。災害の度に「想定外」という言葉が飛び交い、どこか腑に落ちなかったのですが、「自然は常に想定外」「そもそもコントロールできない自然を想定することはできない」という意見に成る程と思いました。想定しうる範囲内で考えたとしても、住んでいる場所が都心か郊外か、海辺か山辺か、一軒家かマンションか、子供や高齢者・ペットの有無によっても千差万別ですので、心配し過ぎず油断しないで最低限の心の準備はしておきたいものです。

そんなことを書いている自分自身も、防災リュックの中に何を入れたのかさえ今となっては覚えておらず、備蓄水も期限切れで見直しが必要です。これまで被害にあわれた大勢の方々の震災経験を無駄にしない様に、防災感覚も少しずつバージョンアップしていきたいと思えます。

梅雨入りした割には雨が少ないように思いますが、しばらくはジメジメした日が続きますね。湿度が高く気圧が低いと、どうも調子がでない方もいらっしゃるかと思いますが、くれぐれもご自愛くださいませ。



基礎工事が完了し足場の組み立てが始まりました。



色とりどりのお花を楽しめる季節ですね！